

活用場面

C4

自分たちとは違う環境で生活する児童に発信することで、新たな視点を獲得する

活用したソフトや機能：プレゼンテーションソフト、テレビ会議機能

学 年：小学校第3、4学年 教科：総合的な学習の時間

単 元 名：自分たちの地域のよさを他の地域の仲間に伝えよう

○ 本時について(14/15)



(1)ねらい

・自分たちの地域とは生活環境が異なる地域の児童に自分たちの地域の町づくりや魅力について発表する活動を通して、自分たちの地域の現状や課題を正しく把握し、地域のためにできることを考え、話し合うことができる。

(2)評価規準

・○○小学校の児童への発表を通して学んだことを生かしながら、自分たちの地域のためにできることを考え、話し合っている。【思考・判断・表現】

(3)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 本時の課題を確認する。 ○○小学校の友達に自分たちの地域の良さを伝え、自分たちにできることを考えよう。	・自分たちの地域のよさが伝わるように事前にプレゼンテーションの内容を吟味する。
展開	2 自分たちの地域とは生活環境が全く異なる地域の児童に自分たちの地域の魅力をプレゼンテーション形式で発表する。 ・聞く相手が遠隔地でモニタの前にいることを確認し、声の大きさや話す速さ、視線を意識して発表する。 3 ○○小学校の友達から感想を聞く。 ・発表された感想の中から、本時のねらいを達成することにつながる感想を整理する。 4 町づくりのために自分たちにできることを話し合う。 ・特産品のこんにやくを使ったお弁当を作って地域の魅力をポスターやイベントで伝えていこう。	 ・テレビ会議機能を活用し、自分たちとは環境が違う遠隔地の児童に発表する。感想をもらうことで、新たな視点を獲得する。
終末	5 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。 ・地域の人に自分たちの考えを提案する機会を設けるので、今日の感想をもとにもっと考えてみよう。	

活用の際のワンポイント！

- 生活環境が異なる児童に自分たちの地域の魅力を伝えることで、自分たちにとっては当たり前であることも、他の地域では当たり前ではないと気付くなど、新たな視点を獲得することに繋がります。
- 地域の比較から「自分たちの地域の魅力をさらに伸ばすためにどうするか」「もっと、こうしたいという課題は何か」という視点で考えることが、今後の学びにつながります。